

第24回研修会議題 事前アンケート集計結果

1. 来年度のリーグ戦に関して

賛成 35校 ・ 反対 17校 ・ どちらでもない 1校

[賛成派]

- ・大阪大：七大戦もあり、その時期は忙しくなり、リーグ戦前にリーグ戦形式の練習試合が組めるようになるため
- ・大院大：練習時間は多く欲しいから。
- ・大教大：練習時間確保につながるし、十分に余裕をもってリーグ戦に臨めるため
- ・大経大：練習時間を確保したい
- ・大経法：試合の前にもっと練習をしたいので
- ・大産大：調整期間が長くなるため
- ・大電通：練習時間が多く取れ、試合の準備なども余裕をもってできる、また、合宿や大学の行事などの日程も調節しやすいため
- ・関西大：例年通りの形式になるため
- ・関学大：早いより遅い方がいい
- ・京都大：今年度、全日本学生弓道選手権大会が例年より遅れていたため、合宿、試合の組み方が変則的になり、9月の日程に余裕がなくなったから
- ・京外大：特になし
- ・京教大：実習等の都合がつきやすいため
- ・京産大：練習時間確保のため
- ・京都橘：練習時間を確保する為という理由に妥当性を感じるため
- ・京文教：反対する理由がないので
- ・京文短：全日本学生弓道選手権大会の後、夏季の合宿を開催するため
- ・近畿大：準備期間が短いときちんと練習ができないからです
- ・甲南大：練習時間を確保したい
- ・甲女大：練習時間を確保したいので
- ・神女大：例年と平等に練習時間を確保するためには妥当だと思うため
- ・高野山：その分、練習ができるから。また授業も始まるので大学との連絡が取りやすい
- ・滋賀大：練習時間が増えるため
- ・滋県大：道場がないため、夏休みの練習時間を確保し万全の状態に臨みたいため
- ・天理大：例年と同じ練習時間を確保するため
- ・同志社：練習時間の確保のため。インカレ後に合宿、練習試合を入れたいため
- ・同女大：夏季休暇の合宿の日程に余裕がもてると思ったからです
- ・奈良教：反対する理由が特にないため
- ・奈良医：練習時間の確保のため。ただ、日程については11月3日に東西、王座の出場選手登録期限なの

で、日程調整は熟考すべきだと思います

- ・ 姫獨大：今回みたいに入れ替え戦がずれなかったらいいと思う
- ・ 兵教大：練習時間が必要だと考える為。
- ・ 兵庫県：練習時間を確保するため
- ・ 佛教大：練習時間を確保する為なら仕方ない
- ・ 桃学大：練習時間が確保できるのでよいと思う
- ・ 龍谷大：リーグ戦の練習時間が確保できるため

[反対派]

- ・ 阪外大：例年全日の後に近国大や七大戦を経てリーグに臨む大学もあり、練習時間を確保する為という理由でリーグの時期を遅らせる必要はないと思う。また、来年度のみ変更するというのは今後のことを考えても手間を増やすように思われる。11月は幹部交代をする学校も多いと思われ、リーグの時期が長引くのは良くないと思う。
- ・ 大芸大：1週ずれることによって、12月の研修会と大学行事が重なってしまうため反対です。
- ・ 大歯大：一週間遅らせることにより、後々の調整が難しくなると思います。今年度のように台風などで中止となることも考えられますので、早くから始めた方がいいと思います
- ・ 大市大：リーグ戦の終了を遅らせれば遅らせるほど学業に悪影響を及ぼすから
- ・ 大府大：夏季休業中の弓道に専念できるときにできる限り、リーグ戦に臨みたいため。また、日程が遅れると学業に支障がでる可能性があるため
- ・ 大手前：リーグ戦の練習時間が大事だから、審査とかぶるのは避けてほしい。この前は1週間早くすると言っていたのに、遅く始めるのは間違えています。全日が遅くなっても1週間遅く始めなくても大丈夫だと思う
- ・ 京園大：遅らせる場合、リーグ戦の日程を調整しなければならなく、その調整が順序よく進むとも思えないので、例年通り9月の第3週からでいいと思います。
- ・ 京工繊：別に大丈夫です
- ・ 京女大：今年もインカレの時期が後ろにずれ、練習時間が例年より減ったが、その期間の中で各校練習に励んだ。練習は量も質もどちらも大事だが限られた時間でどのように練習するかも大事である。試合とは、弓道生活（練習）全体の通過点の1つである。したがって、各試合間の期間の長短はさほど問題ではないと考える。去年の研修会で練習期間が一週間縮まる話がでたが、結局、関西のリーグ戦を早めずとも例年よりインカレとリーグ戦の試合間の練習期間は減った。そしてその期間で各校練習に励んだのではないか。道場のない大学や、道場があっても使用条件があるなど、十分な練習時間が確保できない大学も少なくはないと思う。各大学が様々な事情を抱えながら練習に励んでいる中で、自分の大学の練習事情を嘆いても仕方がないと思うし、先ほど言った通り限られた時間で各校練習に励んでほしい。一週間遅らせるとすると、リーグ戦後半にある学際の関係で道場提供が難しい大学がでたり、今年のように予備日に一週分の試合全てを移す必要が出たとき対応が難しい。様々な可能性を考えると。全試合、各大学、運営が厳しい状況下におかれると思う。去年の研修会や、その後の会議でもいやというほど練習について話されたが、その話し合いの内容を踏まえた上で意見を他校には求めたい。去年の

繰り返しは避けたい。

- ・京府医：終了時期が遅れるとカリキュラム上不都合のため
- ・京府大：学校行事との兼ね合いで練習に専念できなくなるため
- ・神戸大：兵庫県の昇段審査が11月第2週の日曜に行われるので
- ・神院大：今年度第3週からリーグ戦が始まりましたが兵庫県の昇段審査とリーグ戦が重なりそうになり、更に1週遅くなると審査が受けられなくなる可能性が高くなるからです
- ・神外大：兵庫県昇段審査と日程の重なる恐れがあるため。
- ・帝塚山：例年通りの日程の方が、都合が良い。研修会開催も一週遅れるのは都合上大変厳しい
- ・奈良大：練習時間確保のため
- ・奈良女：リーグ戦終了時に幹部交代を行う大学もあるため日程変更になると引き継ぎ等で不具合が起こる可能性もあるから
- ・和歌山：9月の第4週からリーグ戦第一戦～第五戦、入れ替え戦、順位決定戦の日程を調整するのは無理がある

[どちらでもない]

- ・立命館：詳細な日程が決まらないと賛成も反対もできません

2. 公式試合における、参加可能である学年について

賛成 23校 ・ 反対 30校

[賛成]

- ・阪外大：別に良い
- ・大院大：証明書を提示するのならいいと思う。それに選手の人数が足りていない大学もあると思うから、人数がかけた状態で出場するよりは5回生、6回生が参加してメンバーを揃えられるのであれば揃えた方がいいと思う。
- ・大教大：より多くの選手に出場の場を与えてほしいため
- ・大経大：6回生でも5回生でも試合に参加する権利はあると考えているから
- ・大芸大：正式な理由で在学しているため
- ・大歯大：当方も6年制大学ですが、引退は4年の8月です。4年制大学の方よりも現役の期間は長いですが、カリキュラムの変更などで部活動を行わない学生も多く、今後部員が減少することも考えられます。メンバーの確保のためにも強化していただきたいです
- ・大市大：詳しくはわからないが、6年制の大学はおそらく学業に取られる時間が多大であるため、一概に4年制大学の学生が射手として不利とは感じないため
- ・関学大：6年制であるなら問題はない
- ・京都大：京都大学にも6年生の学部があり、かつ、現在6年生学科に在籍する部員もあり、将来もそのような部員が発生すると思われるため
- ・京園大：大学の学生弓道なので在学中ならば、5回生でも6回生でも構わないと思います
- ・京教大：信頼性のため

- ・京府大：制限する理由が思い当たらないため
- ・京府医：当部がそうさせていただいているため
- ・甲南大：6年制ですが、学生であるため留年等でなければいいと思われる
- ・神院大：部員が少ない大学は公式試合に出場できない場合があるため、その様な場合は参加を認めてもいいと思います
- ・高野山：同じ学生であるから。留年等でもないので良いと思う
- ・滋科大：その大学の生徒である以上はその選手にも平等に権利があってよいと考えるため
- ・帝塚山：特に問題がないと思う為
- ・同女大：我が校も人員不足はなはだしく、もしそうしていただけるのならありがたいです
- ・奈良大：人数がいない場合に限る
- ・姫獨大：6年生ならばまだ学生といえるので賛成
- ・兵教大：経験年数ははじめた時期によっても変わるため、大学生であれば出場が認められるべきだと考えるから。

[反対]

- ・大阪大：このように在学中の学生なら試合に出られるという制度を設けると、もともと在学期間が短い大学との差が広がってしまうため
- ・大経法：6年制の大学でなくても5回生や6回生は大学生なので特に必要ないと思います
- ・大産大：4年制との公平さに欠けるため
- ・大電通：4年制の大学に対して不公平。もし適応されるのであれば留年生も参加できるようにしてほしい
- ・大府大：学生ではあるが、他の4年生の学部生との公平制が保たれないと感ずるため
- ・大手前：リーグ戦では4年と定められているため、同様である
- ・関西大：公平でなくなる
- ・京外大：弓道歴に差が出るため
- ・京工織：それならすべての大学で認めるべきだと思います。
- ・京産大：公平に公式試合を行うため
- ・京女大：そのようなことをしなくとも、現状の規約において、6年制の大学は5・6回生の出場が認められている。第13章第1節総則第一款競技 第57条にきちんと記されている。さらにそこにあるように、全日本学生弓道連盟規約第87条やその補足に詳しく書いてある。また、部員登録された生徒は、関西支部長に生徒証明書のコピーを提出しているはずである。このような規則をわざわざ作る意図がわかりかねる
- ・京都橘：各大学の形態があるので、それに応じた対策が求められると考えるからです
- ・京文教：たとえ6年制であろうと、試合において経験値などで不公平になると考えるから
- ・京文短：弓歴など短大生の立場が降りになるため
- ・近畿大：もしその5回生、6回生が弓道経験している方だったら明らかに経験の差があるからです
- ・甲女大：4年制が不利になってしまうため。人員不足で試合を行うことができない場合の処置であればいいと思う

- ・神戸大：4年制大学が明らかに不利なので
- ・神外大：弓道経験において不平等であるから
- ・神女大：今まで通りの規定でいいと思います
- ・滋賀大：5回生になると大学弓道経験が一年長くなり、不公平をつくるから
- ・天理大：今まで通り4回生までにすべき。人数が足りない場合のみ新人戦のように特例選手をみとめるのはどうか
- ・同志社：公平性がなくなります
- ・奈良教：公平性に欠けると思われる
- ・奈良医：全日本学生弓道連盟規約の補足にある通り、入学後何年目なのかということが出場資格の基準で6年制大学であれば入学してから6年間出場できるということによいと思います
- ・奈良女：4年制の大学の弓道部員よりも明らかに弓道年数が長い為、公平な試合をすることができないから
- ・兵庫神：4年制大学との公正性を保つため
- ・佛教大：4年制大学が不利になってしまう可能性がある
- ・桃山大：今まで通り4回生までで統一すべきである
- ・立命館：全日本で6年制について定めていないにも関わらず、関西だけでこのような決まりを作ってしまうと、全国の試合で出場するか、しないか、という議論が生じてしまうと思うから
- ・龍谷大：他校を同じ条件にすべき
- ・和歌山：6年制の学科のない大学にあまりに不利

3. リーグ戦の5巴の規約制定について

賛成 47校 ・ 反対 5校 ・ どちらでも 1校

- 1 5巴が発生した場合、それまでの試合での総的中率にて勝敗を決めるべきである
- 2 5巴が発生した場合、総的中率上位2校、下位2校で試合を行い、3位の大学が審判を行う
- 3 5巴が発生した場合、改めて試合を行うべきである

[賛成]

- ・大阪大：より効率のよい運営ができるようになるため
 - 1 反対：的中率のみで決定するのは不当だと思うから
 - 2 賛成：的中率のみならず、勝負強さもわかるため
 - 3 反対：時間がかかるため
- ・阪外大：規約があった方が加盟校としても助かる
 - 1 賛成：合理性だと思う
 - 2 反対：3位の大学のみ試合をしないのは公平性に欠ける
 - 3 反対：時間がかかりすぎる
- ・大教大：円滑な試合運営を可能にしてほしいため
 - 1 賛成：時間的制約を香料すると総的中数で勝敗を決めた方がよいのでは
 - 2 賛成：円滑に勝敗を決定できるため

- 3 反対：時間的に余裕がないため
- ・大経大：起こってから考えていては混乱するから
 - ①賛成：公平だから
 - ②賛成：特になし
 - ③反対：日程の調整が大変だから
 - ・大経法：やはり厳密な規約は必要だと思います。
 - 1 賛成：一回だけではなく平均的の実力が見られる
 - 2 賛成：実力の差が少ない
 - 3 反対：時間がそんなになんないと思います
 - ・大芸大：今後5巴が発生した場合、関係者全員が速やかに対応できるように制定すべきです
 - 1 賛成：道場提供の都合を考え、試合数はなるべく少なくしたほうが良いと思います
 - 2 反対：①と同様
 - 3 反対：①と同様
 - ・大産大：ちゃんとした規約を作ったほうが後の試合を円滑に進めることができるため
 - 1 反対：ちゃんともう一度試合をし、改めて勝敗を決めるべき
 - 2 反対：3位の大学の公平さに欠けるため
 - 3 賛成：すべてやってしまったら時間がかかってしまうため、別の試合形式で行うべき
 - ・大歯大：ただし、来年のリーグ戦までに時間の余裕がある場合は制定した方がいいと思います。最優先事項ではないと思います
 - 1 反対：不戦勝の場合は的中数が0になるため
 - 2 反対：同上
 - 3 賛成：同じ勝ち点となったため、全校同一の状況で試合を行うべきだと思います
 - ・大市大：5巴が決まって後に関学連から試合についての詳細を伝えられるよりも、事前に形式などを知っておくことに損はないため。
 - 1 反対
 - 2 賛成：この方式が最もリーグ本戦の結果を反映しつつ、順位決定戦としての形をとれるから。
 - 3 反対
 - ・大電通：無いよりもある方がいい
 - 1 賛成：再試合は大学の行事などがかさなる可能性がある
 - 2 反対：同上
 - 3 反対：時間がかかる上、予定の変更などをしなければならなくなる。さらに、また5巴が発生する可能性もある
 - ・大府大：違う道場で引いたり、2校のとこと3校のところでは時間の使い方も違うので明らかに公平ではないから
 - 1 賛成：一番公平でかつ、それまでのリーグ戦の本戦が無駄にならないと判断したため
 - 2 反対：①のほうが良いと判断したから

- 3 反対：書いてある意味がよくわからないが①の方が良いと判断したため
- ・ 関西大：混乱が回避できる
 - ①反対：勝負の数が順位を決める方法であるため
 - ②反対：同上
 - ③賛成：同上
 - ・ 関学大：万が一5巴になったら面倒
 - 1 賛成：わかりやすくてよい
 - 2 賛成：同上
 - 3 反対：王座の日程等に変更があるのは困る
 - ・ 京都大：昨年、5巴を経験しホーム・アウェイの試合の決め方、どの大学が3巴を行うかなど規約がないなどしたため
 - 1 反対：そもそも、順位決定戦の意味がない
 - 2 賛成：5巴において3巴を行うのは2つの学校と3つの大学で条件が大きく異なるため、できるだけ同じ条件で行うことが望ましい
 - 3 反対：②と同じ
 - ・ 京外大：あった方がやりやすい為
 - ①賛成
 - ②反対：審判は割り振るべき
 - ③反対：同中があった場合のみ
 - ・ 京園大：めずらしい事ですが、2年連続で5巴が発生するならば改めて規約を制定したほうが良いと思います
 - 1 賛成：これまでの試合の結果を用いて迅速に順位決定が決めることができると思います
 - 2 賛成：試合の対戦校の決定が早く済むので良いと思います
 - 3 反対：試合の日にちを確保できるかが問題だと思います
 - ・ 京教大：規約を制定しておく方が、今後のスムーズな運営が可能であると考えられるため。
 - ①賛成：的確尚且つ公平であるため
 - ②反対：2、3位・3、4位で同中の場合が難しいため
 - ③反対：あまり長びくと学業に支障が出る可能性も考えられるため
 - ・ 京工繊：いいと思います。
 - 1 反対
 - 2 賛成：より公平だと思います
 - 3 反対
 - ・ 京産大：2年連続で5巴が発生しているため
 - 1 反対：チーム同士の力が均衡化しているため
 - 2 賛成：総的中率はそのチームの力なので
 - 3 反対：日程が多くかかるため
 - ・ 京女大：5巴が起こる度どうするか話し合い、準備する時間が削減できる。しかし一昨年の研修会で意

見が割れ、まとまらなかったのが難しいとも思う。62条の勝敗は的中数、または的中率の多少によって決定する。というのを優先するか、85条の順位決定戦を行うかのどちらを優先するかである。しかし、やはりリーグ戦の規約である、85条を優先すべきだと思う。

1 反対：規約85条に従うべき

2 反対：同上

3 賛成：同上

・京都橘：稀な出来事だとはいえ、規約があれば不測の事態に対応できると考えるからです

①賛成：明確に勝敗が分かるからです

②賛成：二の案も上記と同じ理由です、なので①、②のどちらでもよいと考えます

③反対：試合期間が長引くため、道場提供や審判校といったことで各大学での日程等の調整が困難になる恐れがある

・京府医：当然すべきかと

1 反対

2 賛成：この案が最も妥当かと思えます

3 反対

・京文教：次年度以降にも5巴が発生した場合に規約がなければ対応等で問題が生じると思われるため

1 賛成：一番公平だと考えるから

2 反対：5巴になっている以上、公平に順位を決める必要があると思われるため

3 反対：時間、場所などを改めて決定する手間がかかると思われるため

・京文短：反対にする理由がないため

1 賛成：反対する理由がないため

2 反対：上位の大学が不利になるため

3 反対：時間がかかるため負担が大きい

・近畿大：念のため、もしそういう事になった場合の試合が、今後ともあるはずだからです

1 反対：的中率が低い大学にも試合をさせてチャンスを与えたいため

2 反対：3位の学校にも引かせてあげるべきだと思います

3 賛成：下位の学校にもチャンスを与えたいからです

・甲南大：円滑にリーグ戦を信仰できると思われる

1 反対：公平性に欠けるため

2 反対：同上

3 賛成：公平である

・甲女大：今後に備えて規定すべきだと思う

1 賛成：本戦での結果を反映できるため

2 反対：公平でないため

3 反対：時間がかかるため

・神戸大：①反対：5巴の場合だけでなく、順位を決定する方法は統一すべきだと思います

- 2 反対：同上
- 3 賛成
- ・神院大：5巴が発生する可能性があるなら、きちんとした規約を制定しておいた方が試合が円滑に進むと思うから
 - 1 賛成：ほかのスポーツでも勝敗数が並んだ場合、得失点差や勝率で順位を決めるので、弓道も総的中率で決めるのもありだと思う
 - 2 反対：よくわからないので反対
 - 3 反対：時間がかかるから
- ・神外大：混乱をさけるため
 - 1 賛成：実力勝負の形をとれているから
 - 2 反対：5巴の意味を成していないため
 - 3 反対：道場の確保が困難となることが予想されるため
- ・神女大：規約がなく曖昧なままより、具体的に決まっていたほうが良いと思うため
 - 1 反対：再度5校で試合を設け、勝敗を決めたほうが良いと思うため
 - 2 反対：3位の大学も含め、5校で試合を行ったほうが良いと思うため
 - 3 賛成：平等だと思うため
- ・高野山：めずらしいことでも、現に発生しているため厳密な規約が必要
 - 1 賛成：もう一度試合をする時間がないため
 - 2 反対：3位だけを総的中率で決めるのはおかしいと思うから
 - 3 反対：改めて試合を行う時間がないと思う
- ・滋賀大：規定がないと実際におこっているのに困るから
 - 1 賛成：新たにする必要もなく、スピーディーに決めるから
 - 2 賛成：3位が審判を行うがスムーズに進むから
 - 3 反対：新たにすると移動費などお金と時間がよりかかってしまうから
- ・帝塚山：規約があいまいであると、色々とややこしく審判としても困るため
 - 1 反対：人数が少ない大学は不利になるため
 - 2 反対：審判を行うのは抽選などで決めるべきだと思う
 - 3 賛成：平等に試合を行う方が良い為
- ・天理大：規約があった方がより円滑に試合を進めることができると思われるから
 - ①反対：これまでおこなってきた通り、平等に試合を行い勝敗を決めるべきだと思う
 - ②反対：不平等であるため、3位の大学から不満の声があがるのでは？
 - ③賛成：行った方が不平不満もなく試合が行われるのではないか
- ・同志社：同志社が道場提供することになる可能性が高いため
 - 1 賛成：早く決めることができるから
 - 2 反対：負担が増えるからです
 - 3 反対？：現実的に無理だと思います
- ・奈良教：リーグ戦をスムーズに行うため必要であると思う
 - 1 反対：3巴の場合の規約に反するため

- 2 賛成：最も公平であると思うが、審判校は3位に限らなくてもよいと思う
- 3 反対：日程の都合がつかないと思われる
- ・奈良医：今後5巴という特殊な状況になった際、迅速かつ公平な対応ができるため
 - 1 反対：的中率のみで決めるよりは試合をするべきではないか
 - 2 賛成：この方法か、総的中で上位3校、下位2校で3巴、2巴にするか、上位2校、下位3校で2巴3巴をするか、の3つがよいと思います
 - 3 反対：順位決定戦の報告がそのリーグのみ大幅に遅れるため
- ・奈良女：万が一5巴になったことに対応できるようにするため。厳密な規約がなければ各大学が要項が分からなくなるため、改めて説明する当の手間が省けるから
 - ①賛成：選手や道場提供校の負担を軽減する為
 - ②反対：3位の大学に対する取扱いが少し不明であるから
 - ③反対：改めて試合をすると、また約1か月つぶれてしまい、加盟校の負担になるから
- ・姫獨大：またあった時のためにあった方がよい
 - 1
 - 2 賛成：その日の調子によって変わるため
 - 3
- ・兵教大：今後も発生する可能性があるから。
 - 1 反対：総的中数のみで決めるべきではないと考えるから
 - 2 賛成：①～③のうち一番実現しやすく、かつ公平だと思うので
 - 3 反対：非常に時間がかかるため
- ・兵庫県：もし5巴になったら際、規約があった方が公正で客観的な判断がしやすいため
 - 1 賛成；公平性を保つため
 - 2 反対：①に賛成のため
 - 3 反対：①に賛成のため
- ・佛教大：また5巴が発生した場合、規約がないと不平・不満が出ると困るので
 - 1 反対：リーグ戦での勝ち、負けの意味がなくなってしまうので
 - 2 反対：同上
 - 3 賛成：改めて試合を行い、しっかりとした勝敗を決めるのが良い。
※それまでの試合の総的中率の上位校に有利になるように試合を組む
- ・桃山大：今後とも発生する可能性があるため作るべきだと思う
 - 1 賛成：この考えが一番良いと思う
 - 2 反対：この考えは何か不公平さを感じるので、総的中で勝敗を決めるべきであると思う
 - 3 反対：改めて試合を行えば日程もずれ込む可能性もあるのでやめた方がよいと考える
- ・立命館：規約を制定することに対しては賛成です。しかし、以下3つの規約案については細かい内容を聞いてからでないと決めかねます
 - 1 どちらでも

2 どちらでも

3 どちらでも

・龍谷大：対応が遅れずに済むため

①賛成：最も適していると思われるため

・和歌山：これからも発生する香の成があるならば、これに対応しておくのは当然必要な行為

1 反対：この方式なら、3巴も総的中率で決めればよいという議論になってしまう

2 賛成：最も現実的で3巴で行われる対処で類似点が億、不平等感が少ない

3 反対：現実的ではない

[反対]

・大院大：昨年、一昨年と現在の規約で対応できたのだったら必要ないと思う。

・大手前：発生した場合に、あった方がよいと思うが規約で固めてしまうより、臨機応変に対応すべきである。

・滋県大：的中数で順位を決めてしまえるかもしれないが、最終的な順位は勝率で決めたい

・同女大：現状維持が望ましいと考えるからです

・奈良大：昨年、一昨年の対応を教えてください

[どちらでもない]

・京府大：具体的な状況を理解できないため判断できません

4. リーグ戦における自然災害の対応について

賛成 50校 ・ 反対 3校

[賛成]

・大阪大：効率のよい運営ができるため

・阪外大：対応が設けられている方が加盟校としても助かる

・大院大：今回の対応で十分だと思ったが、今回以上に予測できない災害が起きたときの為には必要だと思う。

・大教大：警報発令が一定の時刻で解除にならなければ、試合の中止等の規定を設けてほしい

・大経大：当日ぎりぎりに中止と言われても困る

・大経法：今回見たく時間やメールを待つて遅刻になってしまう可能性があるため

・大芸大：午前の試合の時と午後の試合の時、それぞれ何時までに警報が解除されなければ中止ときめたらどうでしょう

・大産大：予備日に行うのが一番かと思います

・大歯大：自然災害が不測ではいけないと思います。今年度の対応は簡潔でとてもよかったと思います。
→選手は関西の広範囲から集まるため「全域」にした点。AM6:00では家を出る前に試合の有無が分かった選手も多いと思います、もう少し早くてもよいかもしれません

・大市大：今年度のように“災害発生→関学連が認知→各校に通知→主将が部員に連絡”では対応が遅

れるから

- ・大電通：電車が止まる等で試合に参加できない場合再試合、遅れてこられるようなら時間を遅らせる
- ・大府大：今年度の対応と同様で良いと思う
- ・大手前：その方が、対応がしやすいが、規約で固めてしまうとそうしなければならない。臨機応変に対応すべき
- ・関西大：今の規約の「必ず試合会場に行くべき」の文面がおかしい。
警報等発令時に何時になれば試合中止なのかの規約をつくるべき。学校ごとにも規約がそれぞれあることも考慮に入れるべき
- ・関学大：自然には勝てない
- ・京都大：今年度、台風で試合が中止になった経験をいかし、迅速に対応できる仕組みをつくるべき
- ・京外大：
- ・京園大：前日に明らかに次の日に自然災害が起こると予想される場合は前日に中止する連絡をしたほうが良いと思います。
- ・京教大：今後の運営のためになるから
- ・京工繊：設けるべきだと思います
- ・京産大：対応を設けないことには、どう行動してよいかわからなくなり、混乱を起こすことになりかねないので
- ・京女大：目安となるので賛成だが、臨機応変さはほしい
- ・京都橘：各大学で不足の事態におけるマニュアルがあればスムーズな対応ができると思うからです
- ・京府大：そのような事態がおこった時に困るため
- ・京府医：今後、地震などがありうると言われているしなによりはあった方が。
- ・京文教：台風（今年度であれば）が近づいている場合、試合前日に接近するかどうか、あやしい場合は予備日に延期するようにした方がいかもしれない。会場校が遠い場合もことを考慮する方が良いのではないのでしょうか
- ・京文短：自然災害が原因で選手が一人でも遅刻、到着できない時試合を中止にする
- ・近畿大：台風の暴風警報とかは、なるべくメールで知らせてほしいです
- ・甲南大：今年度の基準でいい
- ・甲女大：今後の為に基準を設けるべきだと思う
- ・神戸大：今年度のように、警報がでたら中止でよいと思います
- ・神院大：
- ・神外大：混乱を避け、スムーズな試合運営を可能にするため
- ・神女大：アウェーで試合が行われている場合、現在の対応では遅いと思ったため
- ・高野山：何があるかわからないので設けておくべきである
- ・滋賀大：前日から台風等の何かしらの災害があると予想されるから延期を行うべき
※道具、選手とも移動の際に危険を伴う
- ・滋県大：自然災害がやはりイレギュラーな事態なので基準はあってよいと思う
- ・帝塚山：台風の場合であれば、近畿地方のいずれかの府県に直撃する場合は全ての試合を中止する方がよい。交通機関のマヒや強風などでケガする場合もあると困るため。第一に部員の安全確保

を優先するために基準を設けるべきである

- ・天理大：今年も対応がありましたが、試合会場が遠いと何かと不便な問題もでてくるため、もう少し早い対応をお願いしたい
- ・同志社：自然災害時における対応が設けられていれば、素早い行動ができるから
- ・同女大：適当な処置を適当な時期に下せるようになるなら、それがいいと考えるから
- ・奈良大：判断に困る
- ・奈良医：今年のようにやれば問題ないと思います
- ・奈良女：自然災害時における加盟校の対応を明確にしておくべきであるから。また、試合によっては他府県をまたぐ時もあるので、必然的に警報が出る府県とでない府県があるかもしれないので、移動のことを考えて2箇所はどう対応するかも考えた方がよいのではないかと思います
- ・姫獨大：何回も同じことを繰り返さないようにした方がいいと思う
- ・兵教大：何らかの対応は設けるべきだが、事態に応じた対応をしていただきたいです。
- ・佛教大：いきなり試合がなくなり困ったので
- ・桃山大：対応を設けることで今年よりも余裕をもって行動することができると思うので設けるべき
- ・立命館：あらかじめ対応が決まっていれば突然の災害時にもスムーズに対応できるから
- ・和歌山：予備日に再試合

[反対]

- ・奈良教：現行のままでよいと思う
- ・兵県神：すべての自然災害に対応できないため
- ・龍谷大：現状で特に不備を感じないため

5.リーグ戦の入替戦、順位決定戦を行う際、試合を行う大学の的を提供することについて 賛成 31校 ・ 反対 22校

[賛成]

- ・大阪大：道場提供校のみが負担をおうのは不当だと思うから
- ・阪外大：道場提供校のみに負担をかけるのは申し訳ないので、妥当な案だと思う
(質問) 付け矢用の的も含めると的の数はどこも多くなると思いますが、本校などの的の数に限りがあるので、試合の時に使用する的のみ持参など詳しく決めておく必要があるのではないのでしょうか？
- ・大教大：会場校の負担軽減につながるため
- ・大経法：試合を行う大学の的を提供するのはふつうと思います
- ・大市大：提供校が的を用意する場合、提供校側の負担が大きすぎるため
- ・京都大：京都大学では、毎年道場提供をおこなっており、負担が減ることに関しては大いに歓迎
- ・京外大：急には用意しづらいため
- ・京園大：女子の試合は2試合を1日で行うので多くの的を用意しなければならないので試合を行う大学が提供した方が、負担が軽減できると思います

- ・京教大：負担を分割することで、公平性が生まれると考えられるため
- ・京工繊：道場を提供していただくので、それくらいは当然するべきだと思います
- ・京産大：会場校の負担を減らすことができるので
- ・京女大：道場提供の負担を減らす為。ただ、必ずしもそうする必要はないと思う。試合の練習もしたいだろうし、部員数が少ないなどの事情があるかもしれないので、半分だけにする場合があってもいいと思う。各校の事情を聴き、学連役員が判断を下す形でもよいかもしい
- ・京府大：会場校の負担を減らすため
- ・京文教：自分たちの試合なのだから、自校の的を提供することは至極当然のことと思われるので
- ・京文短：会場校の負担を減らす為。しかし、会場校が遠いなどの場合は試合を行う大学の負担が大きくなるので考慮してほしい
- ・近畿大：道場提供をしているからのくらいは試合を行う学校が提供するべきだと思います
- ・甲女大：会場校の負担軽減のため
- ・高野山：会場校のみ負担がでるのはおかしいと思うから
- ・滋賀大：会場校に負担が多くなってしまうから
- ・滋県大：会場校の負担は減らすほうがよいと思うため
- ・帝塚山：人数の関係や日程によっては提供してもらえの方が助かる為
- ・天理大：女子の試合の場合、普通のリーグ戦中であれば的の提供が負担になることがある。道場を提供してくれている場合には、試合を行う大学の提供をすることが1番良いのでは。
- ・同女大：上記に書かれている通り、負担軽減につながると考えたからです
- ・奈良大：負担が大きすぎる。
- ・奈良教：会場校の負担が大きいと思う
- ・奈良医：道場提供校の負担を減らす為
- ・兵教大：昨年度、今年度と非常に的の消費が激しく、また、的紙を買うお金もかかるので何らかの策を講じていただきたいと思っていました。道場提供の回数が多いので、的紙の提供だけでも援助してくださると助かります。
- ・佛教大：会場校の負担を減らす為にやるべき
- ・桃山大：今年度のリーグ戦の入れ替え戦でもなかなか会場校が決定しなかったので負担を減らすことが必要であると思う
- ・立命館：負担が減るのでいいと思う
- ・龍谷大：会場校は道場の提供の点で負担が大きいため

[反対]

- ・大院大：会場校が提供のままがいいと思う。試合を行う大学が提供するとなると移動が大変になるし、天候が悪い時に試合があったら的が汚れてしまうかもしれないから。
- ・大経大：会場校へのアクセスによっては、かさばる的を持っていくのは大変だから
- ・大芸大：アウェイの場合、移動時に的の破損の恐れがあります。的ではなく的紙を試合終了時に相手校に渡すのはどうでしょうか
- ・大産大：順位決定戦や入れ替え戦を行う大学になるべく負担を減らすため

- ・大歯大：付け矢用的は開場前に用意できていなといけないため。また、両校（または3校）の連絡の行き違い、輸送中の破損など、的の不測が考えられるため。道場提供は参加校の「持ちつ持たれつ」だと思います。入れ替え戦など提供が急遽決まった場合には試合校に的の提供を要請できる権利は必要だと思います。
- ・大電通：持っていく時に破損などのおそれがある
- ・大府大：どうしても両校の的の差が出るのが予想されることや的が倒れた時の処理等が煩雑になるから
- ・大手前：
- ・関西大：的の返却での時間のロスが考えられる。すべての大学が試合を行う可能性も道場提供する可能性もあるので
- ・関学大：これまでやってきて何の問題もなかった、わざわざ試合の日の負担を増やすことでもないのではないのでしょうか？
- ・京都橘：持ち運ぶ際に破れる等がおこりうるため、また、移動が困難になると考えるからです
- ・京府医：持っていくのが遠方の場合面倒。破らないように運ぶのに神経を使う
- ・甲南大：ビニールの的と紙的が混合してしまう可能性があるため
- ・神戸大：持参する道中での的が破損する恐れがあります
- ・神院大：たしかにその方が会場校の負担は減らせるが、関西の移動は公共交通機関の利用が多いため荷物が増えると移動の負担が増えるし、一般人の迷惑になる
- ・神外大：混乱や不具合が生じる恐れがあるため
- ・神女大：試合を行う大学側として、試合を控えているので的の用意もするとなると少しつらいと思ったため。
- ・同志社：試合を行う大学の負担を考えることが最優先だと思います
- ・奈良女：試合を行う大学が道場提供不可の場合もあるから
- ・姫獨大：電車などの交通機関を使ったときにかさばる
- ・兵庫県神：相手校の的の扱いに困るから
- ・和歌山：出場校が的を運ぶ時に、その的を割ってしまいい的が揃わなくなるなど、不測の事態が発生する可能性がある。会場校にも少しは的を用意させるなど対策を